|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 振り返りシート（一次開発） | プロジェクト名 | 作成日 | 担当 | 駒木 | 承認 |  |
| 5\_FGO | 2017/06/07 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| プロジェクト目標 ① | 1日３回定例共有会を行う | プロジェクト目標 ② | 障害発生率±10% | プロジェクト目標 ③ |  |
| 目標達成度 | 100**％** | 目標達成度 | 59％ | 目標達成度 | ％ |
| 達成できたこと | 共有会を毎日行うことができた。 | 達成できたこと | 障害発生は少なかった。 | 達成できたこと |  |
| 達成できなかったこと その原因 | 形は共有会を行っていたが、全員が主体性を持って行っていなかった。 | 達成できなかったこと その原因 | 少ない理由が、コーディングが完璧であったのではなく、テスト項目や、レビューですら発見できなかったからではないかという部分があり、そのようなエラー漏らしがないようなテスト作成を行わなければならない。 | 達成できなかったこと その原因 |  |
| 二次開発でのACTION （解決策） | 共有会をリーダー主導ではなく、全体で進めていくことにする | 二次開発でのACTION （解決策） | 全体像を掴んだ上でのテスト項目の洗い出し、作成を行っていく。 | 二次開発でのACTION （解決策） |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個人目標（　駒木　） | 常に全体を見る | 個人目標（　越　） | エラーの記録を確実に行う | 個人目標（　ムン　） | QCDバランスを意識したシステム開発 |
| 目標達成度 | 60**％** | 目標達成度 | 80％ | 目標達成度 | ２０％ |
| 達成できたこと | 全員の進捗を聞き、全体を見ることに注力した。 | 達成できたこと | エラーが発生するたびにトラブルレポートに記載し、記録を残した。  その他にも実装作業中に生じた不具合は個人的にメモに取り記録した。 | 達成できたこと | 納品ができた。 |
| 達成できなかったこと その原因 | 全体を見ることに注力しすぎて、システム業務が疎かになっていた。 | 達成できなかったこと その原因 | 記録する際に原因と解決方法の記録の仕方を統一していなかったため  見返す際に十分に活用できなかった。 | 達成できなかったこと その原因 | テスト項目が標準値より低かった。  画面仕様とエラー対処に時間を計画よりかかっていまった。 |
| 二次開発でのACTION （解決策） | グループ全体で全体像を掴む努力を行う。 | 二次開発でのACTION （解決策） | 個人的なエラー対処の記録法を定め、些細なものも確実に記録を行う。 | 二次開発でのACTION （解決策） | エラーに対する情報共有をしっかりする。  機能（ユースケース）別に役割分担する。 |
| 個人目標（　香川　） | 誰が呼んでも分かる可読性の高いプログラミングを心がける | 個人目標（　鳥海　） | JSPの苦手を克服する | 個人目標（　　　　） |  |
| 目標達成度 | 50**％** | 目標達成度 | １０％ | 目標達成度 | ％ |
| 達成できたこと | メソッド間で適度な間隔をあけて記述するなど、見易さは達成できた。 | 達成できたこと | プロジェクトでの開発がどのようなものなのかを知ることができ、FCやAction、DAOのそれぞれがどのような役割を持つのか、更に理解できた。 | 達成できたこと |  |
| 達成できなかったこと その原因 | 急いでコードだけ書いていたため、コメントを綺麗にかけなかった。 | 達成できなかったこと その原因 | JSPの苦手が克服できなった。【理由】プロジェクトでの開発だったので、分担していると私がJSPをかくことがなかったから。 | 達成できなかったこと その原因 |  |
| 二次開発でのACTION （解決策） | 可読性をあげるためにわかりやすい命名やコメントを心がける。 | 二次開発でのACTION （解決策） | 自分でJSPの勉強をするとともに、2次開発でJSPをして苦手を克服する。  自分の作業が遅いことでチームに迷惑をかけていることがあったので、早く作業できるように心がけ、また、負担が大きいと思ったら他の人に仕事を頼むようにする。 | 二次開発でのACTION （解決策） |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Quality | | Cost | | Delivery | |
| 品質管理表から わかること | **方式設計以降が、記録していないからレビュー密度が低かった。** | プロジェクト予算・ 実績計算書から わかること | **実装できなかった部分があり、予算消化率が８９％しかなかった。**  **計上が甘いために、作業時間から割り出された数字が間違っていた。** | スケジュール表・ 作業時間表から わかること | **分析に時間をかけ過ぎていた。**  **作業時間表に関してはCostと同様に作業時間に記入の間違いがあった。** |
| 注文管理表から わかること | ２０個の要求のうち、９個のみの実装となった。 |
| 品質に関する 課題と原因 | 課題…テスト項目の設定が少なかった。１methodに対して２．５個程度の項目しか設定できなかった。  原因…各種機能の読み込みが足りなった。 | コストに関する 課題と原因 | 毎日確り作業時間を管理していなかった。 | 納期に関する 課題と原因 | 伝えていた機能を実装することができなかった。  分析に時間をかけすぎていた。 |
| 二次開発でのACTION （解決策） | どんなエラーがグループ内で起きていたか報告書を読む。  全体像の認識の一致を早い段階で行う。 | 二次開発でのACTION （解決策） | 作業時間表の書き方や、レギュレーションを作る。 | 二次開発でのACTION （解決策） | 時間の管理の仕方を確り決める。 |

**※ 適宜、プロジェクト終了報告書、問題点管理表なども参照のこと**